

「暑さ対策」地域へ発信！中学生サポーター事業に係る報告書

「暑さ対策」中学校委員会活動支援事業報告書

<p>学校名</p>	<p>熊谷市立荒川中学校</p>		
<p>1 活動の概要</p>	<p>①中学3年生対象に熱中症予防啓発標語コンクールを実施しました。校内での優秀作品については表彰し、のぼり旗・横断幕を作成しました。 ②保健委員会と中学3年生のボランティアで、熱中症予防のために「ひんやりマスク」を411枚製作、熊谷市にお渡しし、市民の方へ配付していただきました。 ③保健委員会では、熱中症予防啓発の委員会だよりを作成しました。 ④保健委員会で熱中症対策リーダー講習会を実施しました。 ⑤保健委員会の3年生で「涼しさを味わう 夏の和歌」を掲示しました。 ⑥夏休み中の部活動では、熱中症指標計で熱中症レベルを測定し、給水タイムや休憩タイムを積極的に設定しました。 ⑦環境委員会で、教室に「よしず」を設置しました。 ⑧体育委員会で冷水器の上に「ひさし」を設置し熱中症予防啓発の標語を掲示しました。</p>		
<p>2 活動の様子や成果、工夫した点</p> <p>主な活動</p>	<p>☆熱中症予防啓発標語校内コンクール開催 【活動の様子や成果】 3年生が、熱中症予防を地域へ啓発するために、熱中症予防啓発標語を作成しました。校内でコンクールを開催し、優秀作品はのぼり旗に、最優秀作品は横断幕にして昇降口階段に掲示しました。 【工夫した点】 のぼり旗と横断幕は、学校の北側の道路からも見える場所に掲示して、地域の方へも熱中症予防を啓発しました。</p>   <p>☆「ひんやりマスク」を411枚製作し、熱中症予防啓発のために熊谷市にお渡ししました。 【活動の様子や成果】 3年生のボランティアの生徒10人を中心に5月から「stop!コロナ 今、私たちにできること ひんやりマスクプロジェクト」の計画を始めました。表地に接触冷感生地を裏地にさらし生地を採用しました。形は工程の少ない立体マスクとし、ミシンで製作しました。接触冷感の生地は表面がツルツルしていて滑りやすく、手で押さえてミシンで縫う工程には苦勞しました。6月の中旬から縫製作業に入り7月4日に411枚完成しました。</p>     <p>「ひんやりマスク」に「熱中症予防啓発の保健委員会だより」「うちわ」を1セットにしました。今年は、感染症対策で、地域の方へ直接配付することが難しいため、7月10日に熊谷市にお渡ししました。 【工夫した点】 コンセプトは感染症対策と熱中症対策の両立です。接触冷感の生地の選定はもちろんですが、裏生地は肌に直接触れるため、呉服屋を営む保護者の方から肌にやさしくて涼しい「さらし」が合うことをアドバイスいただきました。 熊谷市の最高気温41.1℃に因んで411セット作成しました。また、スクマムクマガヤのロゴマークを付けてラグビータウンであり暑さ対策日本一の熊谷市をアピールしました。</p>		

★熱中症予防啓発のための保健委員会だよりの作成

【活動の様子や成果】

地域の方へ熱中症予防啓発のおたよりを発行して4年目になりました。今年度は、新しい生活様式での熱中症対策のポイントの特集です。裏面には本校が賛同会員として活動している「熱中症声かけプロジェクト」の熱中症予防の声かけを掲載しました。

【工夫した点】

保健委員が、感染症対策と熱中症対策の両立を考え、インターネットで調べてまとめました。



★涼しさを味わう夏の和歌の掲示

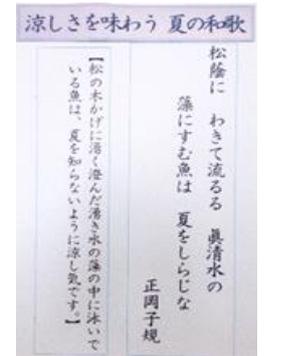
【活動の様子や成果】

保健委員の3年生が、心で涼しさを味わおうと涼しさを表現している夏の和歌を調べました。

和歌に現代語訳を添えて、掲示しました。暑い時ですが、和歌を詠むことで涼しさを味わっています。

【工夫した点】

暑い中での学校生活。感じ方や見方でも涼しくできないかということで、考えました。涼しさをイメージする水色のトーンで作成しました。立ち止まって詠み、風景を想像することが涼しさを味わうコツです。



★夏休み中の部活動での熱中症指標計での熱中症レベル測定

【活動の様子や成果】

夏休みの各部で活動中に熱中症レベルを測定し記録しました。「レベル4：嚴重注意」の時の注意喚起とこまめな休憩や給水タイムを実施しました。「レベル5：危険」の時は、速やかに涼しい場所での活動に切り替えることができました。

【工夫した点】

熱中症レベルを測定したら、結果を部内ですぐに確認するようにしました。このことで積極的に給水タイムや声かけができるようになりました。

★教室のベランダに「よしず」を設置。校庭にある冷水器の上に「ひさし」を設置

【活動の様子や成果】

グリーンカーテンが8月で終了しました。感染症対策で、エアコンを使用中も換気をしています。効果的に換気をするため、環境委員の生徒が、教室のベランダに「よしず」を設置しました。また、校庭の部室棟の東にある冷水器の衛生管理と日差し除けに「ひさし」を設置しました。体育委員の生徒が熱中症予防啓発の掲示物を作成し、ひさしに掲げました。

【工夫した点】

エアコン使用時に日差し除けでカーテンをすると換気効率が下がります。よしずは、日差しを除けるとともに涼しい風が入ってくるので快適に学習することができました。



3 今後の課題

感染症対策をしながら、より効果的な熱中症対策をするにはどうしたらよいのか。熱中症のリスクの高い方に予防するためのポイントを効果的に伝えるためにはどうしたらよいのか。保健委員と生徒会本部の生徒を主体として考え活動していきたい。